

いいたいことがある場合、それはどこに持っていけばいいのでしょうか？

弊社のビジネスコンダクト標準では、いいたいことを率直に発言し、会社の方針や、法律、規制に違反するおそれのある事例があれば、すべて提起することが社員に求められます。しかし、いいたいことがある場合、それはどこに持っていけばいいのでしょうか？

問題を抱えていて、どこにそのことを伝えていいかわからない場合、通常は、直属の上司に申し出るのが最善の方法です。また、あなたの抱えている問題や、職場の事件に対して指示を与えサポートしてくれる人事も問題の相談窓口です。

以下にあるのは、適切な届け出での窓口に関する状況と手続きを例で示したものです*。

相談窓口 - 管理者、職場の人事、または職場の管理部門の別のメンバー

「所属チームのあるメンバーはいつも遅刻したり、早退したりするのですが、定時前に帰っているのに、直属の上司は、彼らを注意する様子がありません。」

「直属の上司は、私達が何かを説明しようとしても聞いてくれない。」

「ある同僚が、所属チームの他のメンバーに対して非常に失礼な態度を取る。」

「直属の上司は、同じボウリングチームのチームメンバーをえこひいきする。」

「政治事情に関する方針で職場における合法的活動が許されないやり方が気に入らない。」

「所属部門で、その役職に適さない人を採用した。」

「同僚ほど給料をもらっていないが、私の方が経験豊富である。」

「私は年間評価レビューを受け取ったが、その評価レベルには納得できない。」

「直属の上司がパフォーマンス強化プラン(PIP)を示してくれたが、同意できない。」

「別の社員と私の意見が合わず、その社員は人事部に報告した。解雇されるのではないかと今は心配している。」

「このカフェテリアの食事はひどい。ごみで一杯になったゴミ箱も見たくない。」

「ある社員が駐車場に駐めた車でマリファナを吸っている見た。」

「ある社員が非常に激怒した状態で出社して、その言動で他の従業員を怖がらせた。」

「トムは、毎日2時間はネットサーフィンに費やしている。」

相談窓口 - 倫理・コンプライアンスチームまたはビジネスコンダクトヘルプライン**

従業員が財務諸表を操作したか、情報を隠ぺいした。

従業員が、本来、規制当局に伝えるべき、会社や、その製品に関する情報を隠蔽している。

キャタレントの利益を左右するため、従業員が直接または第三者を通して政府関係者に贈賄を贈った。

社員が、セクシャルハラスメントの申し立て、またはセクシャルハラスメントの抗議に対する報復を受けたと主張している。

指導を求めている倫理的質問。

法律や規則に反する不正行為。

贈賄、詐欺、横領、独占禁止法上の懸念、または記録改ざんに直接関連する問題。

経営上、評判上、または財務上、キャタレントに重大なリスクをおよぼす不正行為。

実際の、または潜在的な利益相反

環境、健康、または安全やセキュリティに重大なリスクをおよぼす問題。

製品品質や品質の問題。

機密情報の漏洩や不正流用。

法的に守られたカテゴリー(人種、肌の色、性別、宗教、性的指向など)に基づいた差別やハラスメントを含むもの。

法的な保護下にある活動(違法差別に対する抗議など)に対する報復を含むもの。

*キャタレントは、キャタレントのポリシー、法律、または規制の違反の疑いの善意による報告、あるいは調査協力に対する懲罰、報復、脅迫、その他の報復行為を固く禁じており、それらが許されることはありません。

**ビジネスコンダクトヘルプラインは、緊急サービスではありません。ご注意ください: 生命や財産に差し迫った脅威をもたらす事象を報告するために同ヘルプラインを使用しないでください。ヘルプラインを通じて提出された報告に対して、即座に回答が得られることはありません。緊急事態が発生した場合は、911に通報するか、事業所の警備員に連絡するか、地元当局に連絡してください。